

会 議 録

会議の名称	地域福祉計画進行管理委員会
開催日時	平成24年8月7日(火) 午後4時00分 開会 ・ 午後5時30分閉会
開催場所	市役所 5階 503会議室
議長氏名	松 下 庄 一
出席委員氏名	青山 友子 景山 恵美子 山下 恵久子 橋 裕子 茂木 勇夫 橋本 康夫 齋藤 熊平 伊藤 祐一 松下 庄一 岡崎 幸子 下里 隆子 大澤 美恵子 白水 翠 松本 義明
欠席委員氏名	栗原 正明
説明者の職氏名	生活福祉課 課長 瀧澤 雅美 生活福祉課 主幹 小久保 安浩 生活福祉課 副主幹 神山 幸彦
会議次第	別 紙
配布資料	入間市地域福祉計画進行管理委員会名簿 入間市地域福祉計画進行管理について(報告) 進行管理委員会 予定表 社協だより 入間市地域福祉計画進行管理委員会要綱
事務局職員 職氏名	福祉部 部長 田中 利之 福祉部 次長 吉田 導行 福祉部 副参事 田代 清治 生活福祉課 課長 瀧澤 雅美 生活福祉課 主幹 小久保 安浩 生活福祉課 副主幹 神山 幸彦

発言者	発言内容
	委員長・副委員長の選出について
	協議の結果、次のとおり決まりました。(進行は、田中部長)
	委員長 松下庄一 委員
	副委員長 茂木勇夫 委員
	第1回会議の議事録署名人は、青山友子委員となりました。
	議 題
	議題の(1)から(2)まで資料を基に事務局説明
	(1)地域福祉計画の概要について
	(2)今後の予定について
茂木副委員長	事務局からの説明だと、平成26年度からの第2次計画に向けて見直しをすることでしたが、現在の計画を全面的に見直すということでしょうか。
瀧澤課長	全面的に見直したものとなるかどうかは、現段階ではわかりませんが、現計画を基に今後5年先までを見通した計画をご検討いただきたいということです。
茂木副委員長	現計画を策定するのに、2年間かかりました。また、現計画に基づいた取り組みも全地区で始まっているとは言えない状況です。このような状況ですから、現計画を5年経ったから見直すというのではなくもう少し長い期間で捉えていくことはできないでしょうか。
瀧澤課長	入間市の地域福祉計画は、5年間を一つの区切りとした計画になっています。一般的には行政計画は3年から5年程度で見直しを行っていくのが多くなっています。これは、世の中の状況が策定当初から3年あるいは5年経つと変わってくるということがありますので、そういったことを加味してということだと思います。また、地域福祉計画は理念的な部分が多く、具体的な事は少ないのですが、考え方として変わってくるかどうかそういった所を議論いただきたいと思います。
橋本委員	共助という部分で、市が具体的な取り組みを計画していただき、それについての進捗状況を管理するという体制にしてもらいたい。
瀧澤課長	計画の見直しにあたっては、そういったご意見も反映させていきたいと思っています。
伊藤委員	第2回目の会議で、第2次計画策定に向けて、現計画の進捗状況の確認をするとあるが、具体的にどのように進めていくのでしょうか。
瀧澤課長	事務局で、庁内各課・社協からの進捗状況の聴取を行い、それを基に現計画の進捗状況の確認を行います。また、各地域の皆様の声を聞かせていただき、その声から地域の課題を探り、そこから解決策を考えていくという方法を考えています。
伊藤委員	進行管理委員会の役割のひとつとして、各地区の進捗状況を確認していくということがあると思いますが、各地区の具体的な活動状況も示して欲しい。
瀧澤課長	今後、社会福祉協議会が中心となって各地区の活動計画を策定していくこととなりますが、社会福

発言者	発言内容
	祉協議会とも連携しながら、各地区の具体的活動状況を示していきたいと思ひます。
青山委員	市内9箇所で地区懇談会を開催し、問題点等意見聴取をするということですが、具体的にどの様な方に声掛けをして意見を聞く予定なのでしょうひか。
瀧澤課長	自治会関係者、民生委員の方また、地域で実際に活動されている方々、またそれ以外にも一般の方にも意見を聞きたいと思ひています。
青山委員	以上のような方々の意見を聞く為ひ、具体的にどのような方法で懇談会開催についてお知らせするのでしょうか。
瀧澤課長	現時点で想定しているのは、関係者等への案内や広報紙への掲載等です。
橋本委員	進行管理委員会の役割としては、地域福祉の進捗状況の管理であると思ひますが、市内9地区の意見を聞き、それを基ひに現計画を見直すという役割も加わるということなのでしょうひか。
瀧澤課長	進行管理委員の皆様には、地域福祉の進行管理と共に、第2次計画に向けての計画の見直しを行っていただくこととなります。
齋藤委員	進行管理委員には、計画の進行管理とより実行的な計画となるよう計画の見直しの役割をお願いするということなのでしょうひか。
瀧澤課長	ここで、第2次計画の策定に向けて計画の見直しを行っていきますので、そのような役割をお願いしていただくこととなります。
下里委員	地域福祉計画策定時には、大変な苦勞もあつたと思ひますが、この計画は理念的なもので、こうなれば良いというような思いが入れられているものと思ひますが、そこに具体的な数値目標も設定されているわけではありません。具体的に記載されている年度や人口等の数値を見直すことは可能でも、こうなれば良いというような思いの部分を見直すのは難しいと思ひのですが。
伊藤委員	地域福祉計画を具体的に主体となって推進していく母体はどこになるのでしょうか。
瀧澤課長	地域福祉計画は理念的な部分が多くなっています。また、児童や障害者、高齢者の担当部署にはそれぞれ審議会があり、それぞれの施策に対して審議会が意見を述べますが、地域福祉計画は地域の皆様と一緒に作り上げていくものです。その為、地域の皆様の意見を聞くというプロセスは踏む必要があります。そのため、計画の見直しがどの程度になるかは、わかりませんが、市民の皆さん、地域の皆さんにもう一度計画を見直していただくことが大切と思ひます。また、この計画の推進にあつての推進母体といひますか、責任部署としては福祉部生活福祉課になります。ただ、今後の地区の具体的な活動計画につきましては、社会福祉協議会が中心となつて作り上げていきます。これは、社会福祉協議会が作るというのではなく、社会福祉協議会が中心となつて地域の皆様が作り上げるというものです。現時点において、ひとつの実例が東藤沢地区の「ささえあい東藤沢」となつております。このような計画が実現していく様に生活福祉課としても後押しをしていただくこととなります。
橋本委員	市は社会福祉協議会に対して、地区活動計画の策定に対してどれ位関与できるのでしょうか。
田中部長	地域福祉進行管理委員としての役割としては、人間市地域福祉計画進行管理委員会要綱の第2条(所掌事務)にもありますが、地域福祉計画の進行管理及び見直しに関することについて協議し、

発言者	発言内容
	となっております。メインは進行管理ですが、見直しも行うという内容です。先ほど、各地区の活動計画も作るのですかという質問がありました。進行管理委員の皆様は入間市全体の福祉計画について考えていただくものであり、地区活動計画を作り上げていただくというものではありません。具体的な地区活動計画は社会福祉協議会が中心となって作り上げていくということになります。
	地域福祉計画が策定されて、3年になりますが、具体的な動きが遅いと指摘もありますが、そういった所を今後の会議で検証していきながら、それを進めていくには今後どういう方法でやっていけばよいのかという部分を計画の見直しの中に反映させていけばよいのではないかと考えています。
	市の社会福祉協議会に対する関与については、市も社会福祉協議会もお互いに独立した存在ですが、市は社会福祉協議会に対して支援もしています。市が社会福祉協議会に対してこういったこともして欲しいという内容は含まれてきます。
茂木副委員長	東藤沢地区以外は、現時点においては、地域福祉活動といえるような活動にいたっていない。そのような状況下では進行管理も難しい。
下里委員	東藤沢以外にも活動を行っている所はあると思いますが、具体的な活動を把握していないというのが現状だと思います。東藤沢以外の具体的な取り組みも示してもらいたいと思います。
岡崎委員	民生委員の広報部会にも所属しております。そこで、「ふれあいサロン」に地区の具体的な活動を掲載しておりますので、参考にご覧ください。
白水委員	私の居住地域には、近隣助け合い活動推進会があります。この近隣助け合いは社会福祉協議会が事務局で各地区にあると思いますが、こういった活動についても管理・見直しをしていくということだと理解したのですが。
瀧澤課長	地区活動計画では、各地区にある近隣助け合い活動を広げていくというようなイメージになると思います。近隣助け合いも含めて、地域での具体的な取り組みを把握していきたいと思います。
松下委員長	各地区には、近隣助け合いのような活動があると思いますが、それが表に出てこない、実態が把握されていないというのが現状だと思います。今後はこういった活動が地域としてもう少し幅を広げた活動となり、そういったものを含めて協議していくことになると思います。
下里委員	各地区には、実態は知られていないが、地道に行われている活動もあることが分かりました。そういった活動を膨らましていくにはどうしたらよいのかといった点から地域福祉計画を見直していくということであれば、計画見直しの全体像もみえてくるのかなと思うのですが。
瀧澤課長	次回の会議で、そういった各地区の活動について、お示しできるように資料を準備したいと思います。
下里委員	そういった資料をいただければ、市内9地区で地区懇談会を開催するにあたって、それぞれの地区の実態把握にも役立つと思います。
岡崎委員	市内9地区での地区懇談会の開催時期が2～3月となっておりますが、自治会の中には1年ごとに役員が交代するところがあり、役員改選の直前の時期となります。このことから、この時期に懇談会を開催しても、次期役員にうまく引き継いでいけるのか心配な点もあります。開催時期については、見直しを試みてはどうかと思うのですが。

発言者	発言内容
松下委員長	私みたいに何年も役についている所もありますが、1年ごとに交代する自治会もあります。この点については、事務局で検討してみてください。
瀧澤課長	検討してみます。
岡崎委員	近隣助け合いの活動を支え合いの活動として広げていきたいという考えもあるのですが、そこで問題となるのが、個人情報の保護という点です。支え合いの仕組みを求めている所に個人情報保護がネックとなり、なかなか広がっていかないという実態もあるので、一步踏み込んで考えていかなければならないと思います。
齋藤委員	地域福祉計画について、方向性は間違っていないと思うのですが、では誰がどういう風に行うのかといった点が書かれていない。計画の見直しにあたっては、その点ももう少し具体的に入れられればよいと思います。
山下委員	現場で実践している者から見ると、進行管理といわれると、上から目線的なものを感じると思います。計画の見直しにあたっては、現場で実践している方々の意見を重く受け止めていく姿勢が必要だと思います。
橋本委員	市内9地区で行われる地区懇談会に進行管理委員は、その全てに参加することになるのでしょうか。
瀧澤課長	全てに参加していただくということではなく、割り当てのような形で何人かの委員さんに参加いただき、進行管理委員会の席で発表いただくことで、9地区の状況を共有いただければと考えています。
	平成24年8月22日
	議事録署名人 委員長 松下 庄一
	委員 青山 友子